

第2回 清和台地区学校のあり方を検討する懇話会 議事録

令和7年5月27日 午前10時～

【教職員との意見交換についての感想や質問など】

＜問＞説明させていただいた『教職員との意見交換』についての感想や、質問などがあれば、お聞かせいただければと思います。

（1）学校運営について

- ・校外学習を1学年で実施するとバス代が高くなるなら、複数学年で実施するなどしてはどうか。

《教育委員会》

⇒複数学年での実施など工夫をしている学年もあるが、高学年では、修学旅行など、その学年のみで実施する行事がある。また、工夫によって改善は可能だが、工夫を行う際には、場所や日程など制約を受けることもある。

- ・行事を通じてコミュニケーションを取ることは、学校の役割の1つとして非常に重要だと考えている。1学年1学級の学校では、先生たちが少なく、行事を進めるのにとっても苦労していると感じる。安全面でも、先生の数が多く、子どもを見る目が多いほうが良いだろう。
- ・行事の運営をアウトソーシングするという考えはないのか。予算的に、委託先があれば確保することは可能なのか。

《教育委員会》

⇒適切な委託先を見つけることが難しい。コストがかかる部分をどうするのかという問題もある。

地域の方にボランティアで協力してもらったり、卒業生や中学生の力を借りたりすることはある。

- ・学校行事で保護者に声をかけても、働いている家庭が多く、以前より集まりにくくなっている。このような状況では、やはり先生の数が多い方がよいということになると思う。

（2）学年運営について

- ・相談相手がいないとはどういうことか。企業であれば、組織としての問題と捉えられることになると思う。

《教育委員会》

⇒同じ学年の担当がいれば、例えば、校外学習で「どこでトイレ休憩しようか」といった相談も気軽にできる。重大な問題については、もちろん管理職に相談するが、日々の小さなことを何気なく相談できる相手が近くにいないという問題がある。

- ・学校としては、1学年1学級では、同じ学年の担任の教員がいいため、相談しにくいというのが実際のところだと思う。学校では、同じ学年の教員同士でいろいろなことを相談しながら進めている。しかし、同じ学年の教員がいらない場合、他の学年の教員は自分の学年の仕事を進めているため、相談しにくい状況になる。
- ・特に小学校では、小さな問題が日常的に起こっていると思う。同じ学年で同じ業務を担当する先生がいると相談しやすいと思う。小さな問題をすぐに管理職に相談するという体制は、企業の組織とは違い、学校現場に馴染まないのではないか。

（3）授業について

- ・教科担任制は全国的に進んでいることなのか。

《教育委員会》

⇒兵庫県が先行して進めていたが、今では国が推進している。

- ・教科書の内容が大幅に変わらない限り、一度作った教材は、子どもの個々の違いでそれほど変わるものではないと思う。前年度に作成した教材を次の年も使用することはできないのか。教材研究の時間が確保できないことは問題だと感じているが、教材は学校として毎年の蓄積があるため、1回の教材研究にそれほど時間が必要ないのではとも思う。1教科の教材研究が増えることが、どれほど負担になるのかがわからない。

《教育委員会》

⇒教材の蓄積は確かにある。しかし、アプローチの方法や子どもたちの実態、選ぶ教材などによって授業の進め方は異なってくる。指導内容の根幹は共通しており、引き継いだ教材のバージョンアップも可能であるが、目標を達成するために授業をどのように構成するかは、教員によって異なる。よって、授業を行う際は、一定の準備が必要になるため、担当教科や担当学年が増えればその分、時間がかかる。

- ・教科担任制について、本来は児童理解を深めるために導入したはず。業務負担の改善につながらなかった部分だけを強調されてしまうと、「何のために導入したのか」と疑問を感じる部分もある。やはり目的に沿った成果を求めて欲しい。

《教育委員会》

⇒教科担任制の一番の目的は、授業の質の向上と児童理解にある。

- ・先生の負担改善にはならない部分があるのなら、やはり複数学級があった方が良いのではないと思う。同じ学年で相談したり、「今どうやってる？」と情報交換ができないのが、人数が少ないことの問題だと感じた。

(4) 教育面について

- ・仮に清和台小学校と清和台南小学校が統合したとしても、2クラスでおそらく50人程度になると思う。小規模校の良さが失われるのはどのあたりか。異学年交流は小規模校の良さと言えるが、統合した場合にその良さが消えてしまうのか。

《教育委員会》

⇒2学級程度であれば、小規模校の良さが消えない規模であるといえる。2学級になれば、教員配置やクラス替えが可能になる点で、1学年1学級規模の難しさを解消することが一定できると考える。

- ・私は単学級の規模の学校に通って育ってきた。現場の先生の意見として、「新学期で心機一転すること」や「学年内で高め合うこと」が挙げられているが、私自身も子どもも、そのような経験がないため、新鮮に感じるとともに良いことだと感じた。

(5) その他、全体を通して

- ・先生が目線で、良い面、難しい面があることがよくわかった。保護者からしても、先生がたくさんいる方が相談しやすい。
- ・教職員の意見は、先生方の総意と受け取ってよいのか。意見が偏り、声が大きい人の意見だけが掲載されてしまうことを懸念している。

《教育委員会》

⇒教職員の方々と直接意見交換を行った内容をまとめたもの。両校合わせて30名ほどが参加した。教職員の中でも意見は様々あり、ある方は良い面と捉え、別の方は難しい面と捉えることもある。そのため、全員の総意ではないが、このような形でまとめている。

【保護者との意見交換会についての意見】

<問>説明させていただいた保護者との意見交換会についてのご意見などがあれば、お聞かせいただければと思います。

- ・保護者にとっては、とても大事な問題だと思う。これだけ日程があるのであれば、保護者もこの機会に意見を伝えてもらいたい。個人懇談の際に、学校から「こういう会がありますよ」と伝えてもらうのも良い。
- ・対面で意見を言おうとするのは難しい。また、行きたくても行けない人もいるため、QRコードで読み取りできるアンケートを実施するのが良いのではないかな。
- ・座談会はどのような形になるか。参加者が次々に来て、その都度説明するような会なのか。終わりの時間を設定したほうが良い。2時間くらいの設定でどうか。

《教育委員会》

⇒座談会は、開始時刻を決めて説明するように考えている。終了時刻もチラシに明記するように修正する。

- ・就学前施設保護者対象の意見交換会は、清和台地区にある施設のみか。YMCA など清和台地区以外の施設に通っている保護者はどのように参加できるのか。

《教育委員会》

⇒清和台地区の就学前施設対象の保護者説明会以外に、清和台地区に住む未就学児対象の保護者説明会も予定しているため、そちらに参加していただきたいと考えている。

- ・保護者にチラシだけを送付するのではなく、QRコードを付けて、今までの資料などが見られるようにした方が良い。
- ・アンケートはどのような内容をイメージされているのか。「統合することに賛成・反対・わからない」という選択から始まり、自由記述を併用する方法も考えられる。自由記述だけだと答えにくいいため、選択肢を設けた上で自由記述を加えると答えやすいのではないかな。
- ・選択式の方が集約は簡単だと思うが、選択式のものはまだ早いかもしれないとも思う。
- ・選択肢よりも、いろいろな想いの方がいるため、記述式で現状に対する意見を広く聞く方が良いと感じる。

《教育委員会》

⇒今回は、自由記述のアンケートを考えている。選択肢を用いたアンケートも今後検討している。賛成や反対の意見を出す前に、まずは保護者が困っていることや考えていることを聞くことが大切だと思う。最初は大まかな内容から始めたい。